

平成 24 年 度 学 校 関 係 者 評 価 書

教 育 目 標	かかわり合うことが好きな麦っ子を育てる		
重 点 目 標	1 個に応じた基礎学力の向上 個に応じた基礎学力の定着を図る 授業づくり	2 心の安心づくり 思いやりの心を育む全教育活動での 道徳教育の推進	3 保護者・地域と課題の共有 組織的・計画的な学校開放と保護 者・地域の教育力の活用「
1 取組の状況に 関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成のために多くの取組が実施されている。 生き生きと学んでいる様子がうかがえる。 小規模校の良さを生かした個別の支援が行われており安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年にあった目標がさだめられており、その目標に向かって一生懸命に取り組んだようすが見られる。 給食の時間も読書の時間として工夫しているところがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人が学校に来れるように声かけをしているが、難しい。
2 目標の達成状況による意見	<ul style="list-style-type: none"> いずれの肯定率も高く、数値目標が達成されている。取組の成果が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> すでに目標達成していることは、すばらしい。 掲示や賞状などで子どもたの取組への意欲化が図られ、全員達成に向けた積極的な実践がすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標はほぼ達している。
3 取組の適切さの 検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修にそって授業改善が進められていることがよくわかり、その成果が表れている。 今後も継続して取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の読書習慣が「家読」へと家庭生活の中に根付きつつある。保護者の理解や協力が見られる。 読書をとおして・自分の考えをもてる子になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「麦っ子見直し週間」の取組には、回を重ねるごとに、成果が見られる。
4 改善方策に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに、しっかり「考える力」をつけさせてほしい。そのためには、「むぎ・が・わ・パワー」のパワーでしっかり授業を充実させていってほしい。 美祢市の「教えて考えさせて定着させる」授業改善の取組の今後に期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成した児童が達成後も継続して読書に取り組むよう、学校で支援を続けてほしい。 目標達成者に対して表彰をすることは、励みになってよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生活見直し週間」を定期に実施、個別の指導ができているので今後も続けてほしい。 学校の教育活動をしっかりと情報発信していくことで、来校の機会が増すことを期待する。
学校運営の改善 に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や参観日など子どもが通学していない地域の世代も進んで気軽に学校に寄れるように、声をかけて協力していきたい。 学童保育の存続に向けて保護者の不安に対応していってほしい。 		

教 育 目 標	かかわり合うことが好きな麦っ子を育てる		
重 点 目 標	<p>4 チャレンジ目標</p> <p>「大きな声で自分からあいさつをします」</p> <p>あいさつを充実させることを中心においた豊かな心の醸成</p>	<p>5 チャレンジ目標</p> <p>「めざせ年間読書：低学年 300 冊（そのうち家読 200 冊）：中・高学年 150 時間（そのうち家読 100 時間）」</p> <p>読書活動を礎とした基本的生活習慣の醸成</p>	
1 取組の状況に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を親子で決めて取り組んでいるのはよいことだ。 ・ 委員会活動として、子どもたち同志で生き生きとあいさつ取り組んでいる様子がうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育全体にわたって子どもたちの安心して学ぶ環境作りへの取組が見られる。 	
2 目標の達成状況による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肯定率も高く、学校も保護者も積極的に取り組んだ成果がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 者とも肯定率が 90%を越えていて達成できている。 ・ 子どもたちもよく活躍している。また保護者も行事への取組が積極的であり、すばらしい。 	
3 取組の適切さの検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校だけではなく、家庭・地域全体で「あいさつ」を今後も継続して取り組む必要がある。 ・ 生徒指導面でも「あいさつ」とおして、地域全体も安全・安心が守られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肯定率の高さから、学校・保護者・地域が一体となって取り組んでいる成果といえる。 ・ 他校と比べて、麦川小の子どもたちは安心して、ゆったりと生活している様子がうかがわれる。 	
4 改善方策に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校では、よくあいさつをする子が、スポーツ少年団や家庭で、きちんとあいさつができていないところが課題である。 ・ 礼儀としてきちんと教える必要がある。 ・ 地域の大人も積極的に声かけをしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」問題についても生徒指導主任を中心とした取組を今後も継続してほしい。 	